

はじめに

ラフスケッチ

オーラルシールドは上顎前突症例用の簡便な装置として知られ、早期治療の装置として永い歴史が刻まれている。あるとき、突然のように、「反対咬合用のオーラルシールド」が存在しないことに気づいた。同時に、それが今まで「追い求めてきたもの」であることに気づいた瞬間でもある。

母校の小児歯科学教室(深田教室)に入局以来、見えないものを追いかけて始めた。“自分が追いかけているものは何だろう。何を追いかけているのだろうか”という想いは、永く続いた。時を刻むうちに、機能的顎矯正装置にその答えがある、と漠然とした狙いは定まった。しかし、いつまで経っても具体的な画像は思い描けなかった。“何か、あるはずだ”その想いだけであった。時に想いが薄れ、頭を離れる時期もあった。何も見えず、諦めかけていた自分もあった。

深田英朗教授との出会いは、1968年、大学1年生のとき、所属した倶楽部の顧問であったことに始まる。深田先生は「保育歯科学」を提唱していた。「不正咬合は、軌道修正が大切。正しい発育ラインに乗せ換えて育てる。できるだけ治療は早い時期がよい」と語る言葉の端々に、浪漫が満ちていた。「咬合誘導」。その考え方に引き込まれた。それは私に小児歯科学への道を歩むことを決定させた。

“反対咬合症例も、早い時期に関われば軌道修正できる。チンキャップではだめだ。チンキャップを使える年齢より、早く始めなくては”と、漠然とした思いがあった。より低年齢児の反対咬合は、どうすればよいのか。しかし、具体的な方法が見つからない。頭の中で想いだけが空回りしていた。

1982年、Tustinの街を訪ねた。Californiaの空は高くドライな風が流れていた。閑静な町並にDr.Karl.K.NISHIMURA,の診療所があった。機能的顎矯正法を勉強したいという私のために中島榮一郎先生が段取りしてくださった。Dr.NISHIMURA,はそのすべてを教えてくれた。機能的顎矯正法の「核」が私の体内に植え付けられたとさえ感じた。

機能的顎矯正装置の講習会があるとの情報を得て、Minneapolisに向かった。Dr.John William WITZIG,の講習会に、新しい時代の流れを感じた。機能的顎矯正法が、大きな流れになる日はすぐそこまで来ているのではないかとさえ思った。参加者の気持ちが1つになっているのを感じた。たったひとりの日本人ではあったが、孤立感を感じることはなかった。しかし、Dr.WITZIG,が、反対咬合に対する治療法を語ることはなかった。改めて欧米人には反対咬合がきわめて少ないことを知らされた。

休憩時間、業者展示のブースに目が留まった。オーラルシールドが展示されている。黄色、白、オレンジ色を基調とした、子供たちが喜びそうな配色。キュートなデザインで、3種類展示されていた。思わず、私は尋ねた。「どれが反対咬合用のオーラ

ルシールド……?」、「そんなものは、存在しない!」。若い業者の語気は強かった。「そんなことさえ知らないのか!」と言わんばかりであった。その瞬間、自分の言葉が画像として目の前を走り過ぎるのを感じた。「反対咬合用のオーラルシールド」。一瞬の出来事だった。画像をつかみ取ることはできなかった。しかし、頭の中に「反対咬合用オーラルシールド」の文字だけが鮮明に残った。

Minneapolisの帰り道、Seattleに立ち寄った。機能的顎矯正装置を臨床に数多く使用しているDr.Yoshitaka OGATA,の診療所を訪ねるのが目的であった。彼は舌の機能が大切であると私に教え込んだ。しかし、「早期からの反対咬合への対応」には答えをもっていなかった。同じメディカルビルディングで診療しているDr.Bemand JANKELSON,を訪ねるように促した。

Dr.JANKELSON,は、マイオモニター(1970)の考案者として知られている。Ⅱ級症例(上顎前突)にマイオモニターを使用することによって下顎位は是正され、あるべき正しい位置にくる。その位置でバイトを採り、機能的顎矯正装置を作れば、よい治療結果を得ることができる。そのようにして咬合を再構築すべきであることを教えてくれた。

「Ⅲ級症例(反対咬合)も同様の効果が得られますか?」。私は、マイオモニターで下顎位は是正されるのか、と疑問を投げかけた。彼は答えをもっていなかった。では「スプリントを用いれば、マイオモニターと同様の効果が得られるのではないか?」、「スプリントの効果により、下顎は後退するのではないか?」と質問を続けた。一瞬、Dr.JANKELSON,は考えた。「君が試してみてください……」と微笑みを返した。

Seattleの帰り道、機内食のナプキンにボールペンが走った。スプリントに上口唇圧を排除するシールドと、舌を挙上するエリアを付与した。目の前に初めて「反対咬合用オーラルシールド」のラフスケッチが現われた(図1)。すぐに試してみたいという気持ちを抑えることができなかった。

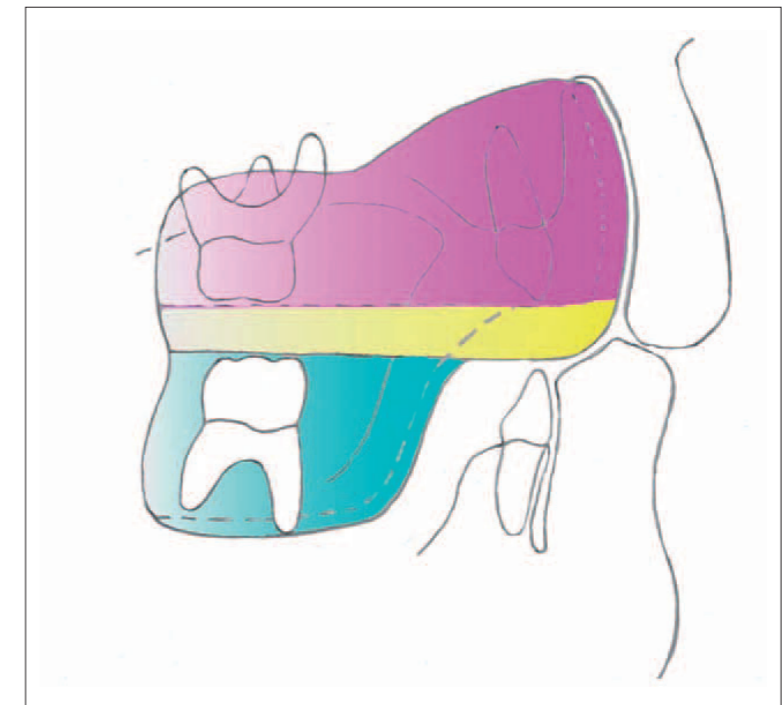


図1